

令和元年度 学校評価一覧シート

ア 自己評価結果等

項目担当	本年度の重点目標	・進路指導の充実を図る。 ・生徒個々の能力の向上を図る。 ・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 ・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行う。	
	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭の連携を深める。 儀式的行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の活性化を図る。 e-メッセージを積極的に活用する。 全職員の協力体制を整え、儀式的行事に取り組む。 生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の積極的な活動により、充実したP T A活動が図れた。 e-メッセージの活用により、学校から保護者へ十分な情報伝達が図れた。 全職員の協力のもと、生徒は概ね規律ある態度で儀式的行事に取り組めた。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学力を向上させる。 広報活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の工夫・改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 授業を大切にす。 (授業規律、成績不振者指導等) 中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にする意識を高め、学力の向上につなげることができた。 追試該当者、追試不合格者に対する指導により一定の成果が得られた。 中学校の進路説明会や中学生保護者説明会において本校の情報発信ができた。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 安全・安心な学校生活の実現。 いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。 	<ul style="list-style-type: none"> 校門指導で挨拶の励行を行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止と減少に努める。 生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 情報を職員間で共有し、いじめ対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみの乱れが目立つ生徒が校内では少なくなった。校外でも自覚を持って身だしなみを整えてくれると良い。あいさつをする生徒が増加したが元気づけできるとよい。 人権講話や集会、日々の学校生活で命の尊さや人権について考える機会を与えた。交通安全講話や通学路交通指導で交通安全に関する指導を行った。結果、登下校における大きな事故は無かった。だが休日等、登下校以外での事故をすべて把握できなかった。 生活アンケートの実施で、いじめの実態把握に努め、気になる回答をした生徒には担任面談を実施し、重大な事態につながることを防ぐことができた。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を図る。 進路校内選考基準の見直しについて、引き続き検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。 進路選考の申し合わせ事項の見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人気の高い事業所において、不合格・職種のスライドが多くあった。面接での強い意欲や基礎学力等で、競り勝つことが必要とされる。 就職試験で約7割の事業所が行っているSPI試験、または基礎学力試験の結果を校内選考基準に加えることが有効と考えられる。この先、実施される「高校生のための学びの基礎 診断」制度に併せて、検討を続ける。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活が送れるようにする。 日常の清掃に積極的に取り組み、整備され、落ち着いた学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、各学科相談係と連携し、教育相談体制の充実を図る。 清掃を毎日全員で実施し、環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察の提出率が向上し、健康意識が高まった。熱中症対応の保健講話ができた。より一層のクラス還元をはかりたい。 カウンセラーとの臨時的対応事案で、担任、各科相談係との連携ができた。今年度はソーシャルワーカー対応事案は無かったが、今後も外部機関との連携を強化していきたい。 ゴミの分別はほとんどのクラスで徹底されてきている。よりゴミの減量化をはかっていきたい。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 個人情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 「KO-GYO-Times」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 セキュリティの向上を行う。 クラウドやSNSの活用を検討し、それらを本校ホームページの活性化に役立てる。 学校ホームページの情報を補完し、中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回「図書館だより」を発行し、図書館の利用を呼びかけた結果、利用者が増加した。 ネットワークハードディスクとそのセキュリティを更新した。 ホームページは、スマートフォンにも対応でき、昨今のデザインに倣ったものに大規模リニューアルができた。 「KO-GYO-Times」第10号、第11号、第12号を発行し、中学校訪問等で配布した。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実を図る。 ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭で行なったeスポーツ大会は、生徒会執行部が、ゲームに詳しい生徒を募り、委員会を組織して企画した。不十分な点もあったが、生徒からは「盛り上がったので来年も開催してほしい」という意見が多かった。今後も、生徒が中心となる行事を検討したい。 後期の校外でのボランティア活動への参加希望者がいなかったため、生徒会執行部で実施した。時期的に部活動等で参加できない生徒もいた。次年度は、夏季ボランティアが増加するように呼びかけたい。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を通して自ら学び、生徒の個々の能力を高める。 開かれた学校づくりを目指して、地域イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階的に資格取得の勉強をし自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。 地域連携授業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格の申込み日は、本校ホームページ、校内の掲示板に表示しているが、受検者は、あまり伸びない。 各科の協力により、地域イベントに積極的に参加でき、生徒のコミュニケーション能力の向上に役立った。

	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味と関心を深め、学習や進路に対する積極的な姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学習を始めとし、進路を意識した資格取得や技能検定および競技会へ積極的に取り組ませる。 外部との連携を深めることで、キャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が受験する検定試験や技能講習のほか、希望者は各種の検定や資格取得に取り組んだ。県立の工業高校総合競技大会製図競技の部団体優勝。また、堀川エコロボットでは特別賞を受賞した。 1、2年生の校外学習（工場見学）や進路講話を実施することで、職場の様子を知るとともに会社が必要とする人材などの情報を得られた。 半田市内の行事に協力することで、地域の活動に関心を持つことができた。課題研究の作品がミツカンミュージアムに特別展示され、本校の情報発信のよい機会となった。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 平素の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 部活動や各種競技大会などに積極的に参加できる環境を整える。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識・技術の習得のためにわかりやすい学習指導を行った。 半田市の小学校や半田市少年少女発明クラブとの交流を深め、生徒自らが指導員としてのものづくりの楽しさを伝えることができた。 各種競技大会、インターンシップ、地域行事などに積極的に関わり、生徒の自己表現する場を作り、アクティブラーニングを実践してきた。 資格取得に力を入れ指導を行った。結果、難関の第3種電気主任技術者に合格した。
土木科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味と関心を深め、学習や進路に対する積極的な姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 土木への興味と関心を深めさせ、各種資格取得・競技大会へ積極的に参加し、生徒の達成感を養う。 建設業界など外部との連携を深め、キャリア教育の推進を図る。 地域の行事・活動に参加することで、公共性を身に付けさせる。 コミュニケーション能力を向上させるため、挨拶や正しい言葉遣いを日頃から指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得については測量士補に1名、2級土木施工管理技術検定学科試験に9名、小型移動式クレーンに1名が合格した。 クレーン、ドローン、GNSSの操作体験、水道事業の体験、現場見学、インターンシップ等を通じて土木への興味・関心を持つことができた。 半田市による「子ども科学体験教室」で小学生に接することで達成感を身につけることができた。 挨拶や言葉遣いについては、これからも積極的に指導していきたい。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立。 進路実現に向けた意識の高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを身に付け、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。 身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。 現場見学会・出前授業・インターンシップ・職業指導講話・面談などを通して、早期に目標を設定する意識を持たせ、社会人としての勤労意欲の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学年とも遅刻・欠席・早退については比較的少なく、生活リズムを身に付けている生徒が多いが、まだ、一部の生徒は遅刻・欠席等多い生徒がいる。 身だしなみ、挨拶、言葉遣い等については、以前より良くなってきているが、さらに良くなるよう引き続き指導をしていきたい。 1学期に職業指導講話及び面談等を行った。また、夏休み中にインターンシップ、2学期から3学期にかけて出前授業や現場見学会等を行い各学年進路実現に向けての意識が高まった。さらに、進路実現に向けた意識の高揚がはかれるよう今後もいろいろな取組をしていきたい。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立や日常のマナーを身に付けさせるとともにコミュニケーション能力の向上を図る。 1年次より進路を意識した目標設定を促し、学習への取り組み姿勢を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退・欠席をしないことの大切さや、挨拶・言葉遣い・協調性・身だしなみなどを、学年会や関係分掌と連絡を取り合いながら学校生活のあらゆる場面で指導する。 HR・L T活動・学年集会などを活用し、目標設定や目標達成のための支援を行う。また、各教科や学科と連携をはかり、授業に臨む態度・心構えを理解させ、提出物・課題が遅延することなく提出できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が、基本的な生活習慣が確立されており、堅実な生活態度を守ることができた。しかし、早退・欠席が例年と比べ若干高い数字であった。引き続き指導していく。 職業講話や職業適性検査を行い、今やるべきことを再確認することができた。また、学年で資格取得に向けて業後の補習を組み、例年以上の結果を残すことができた。生徒のやる気にもつながった。 提出物については、特定の生徒の遅延が目立つ。引き続き指導する。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えて行動する能力の確立。 進路に対する意識の高揚を図り、具体的な目標をはっきりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告、連絡、相談が自分で考えてきちんとでき、適切な行動がとれるように学年会、各科、各分掌と連絡を密にしてきめ細かい指導を行う。 L TやS T、進路指導室の活用等を通し、主体的に進路選択できるように指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分勝手な行動をせずに、自分で考えてから報告、連絡ができる生徒が増えてきた。しっかりコミュニケーションがとれるように、個々の能力に応じた指導を行うことができた。 進路ガイダンスなどを通して、進路に対する意識付けを行った。求人票の見方、進路指導室の活用法を指導し年度末には1回目の進路希望調査を実施した。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力・適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるようにする。 社会人としてのモラル、マナーをしっかりと身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> L Tや個人面談を活用し、個々の進路希望についてよく確認する。 日常生活指導により、社会人として必要なモラル、マナーを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒や保護者との連絡を密にし、適切な進路指導をすることができた。 進路指導や生徒指導を通じて、自ら社会人として必要なモラルを身に付けることができた。また、学年行事を通じて、感謝の気持ちを表すこともできた。
	学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<p>本校の教育活動（ 学校活動・進路指導・部活動・生徒会活動・体験入学・研究発表会 等 ） ・生徒の基本的な生活習慣の確立（ 挨拶・遅刻防止・健康管理・登校指導・身だしなみ指導 等 ） ・本校の教育活動の情報公開と、保護者との協力関係の構築</p>
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動などの取り組みは非常に活発である。 ・各種競技大会へも積極的にチャレンジできている。 ・保護者との連携においては、さらに高める必要がある。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工科高校を見据え、各教科・学科・学年・分掌において横断的な連携を強化していく必要がある。 ・地域、企業との相互理解を高め、さらなるキャリア教育の充実が必要である。 ・粘り強く、継続した学習指導、生徒の気持ちに寄り添った生徒指導を図っていく必要がある。 ・新HPを活用した学校情報の発進力強化に向けて進めていく。
<p>その他 学校評議員から出された主な意見要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根を張る教育を引継ぎ取り組んでほしい。 ・生徒の希望進路を実現するための指導を継続しつつ、時代に合ったルールを検討してほしい。 ・先生方の資格指導等の取り組みが生徒の意欲につながっていると感じている。 ・高校生の薬物乱用に注意し、防止の取り組みをしてほしい。 ・ものづくりは安全が第一であることから身だしなみは厳しくしたほうが良い。
<p>学校関係者評価委員会の構成および評価時期</p>	<p>構成 : 学校評議員5名、学校長、教頭2名、事務長、総務部主任、教務部主任、生徒指導部主任、進路指導部主任、工務部主任 評価時期: 2月中旬</p>